

桜蔭俳話会 三月句会(第三七三回)

平成三十一年三月二十四日(日)

会場・旭区民文化センター(サンハート)

〔推薦句〕

隙間なき監視社会を春の風 明美

〔鑑賞〕 「隙間」が秀逸である。

〔提案〕 「を」は「や」にして二句一章にした方が良い。句意が広がる。

校庭より飛び出すボール初蝶来 友子

〔鑑賞〕 「ボール」と「初蝶」との出会いが良い。

命尽く刻を知らせる春の雪 眞壽

〔鑑賞〕 「命尽く」と「春の雪」との対比が良い。

臍から紅つかみとる柿右衛門 才美

〔鑑賞〕 「つかみとる」が良い。

〔提案〕 「紅」は「彩(いろ)」にした方が良い。「柿右衛門」であれば、陶磁器の色を直想させる「紅」は避ける。

ヘンゼルの置いてゆきしか白椿 秀夫

(文責 代表 増田 守)

(欠席投句 古野明美、稲葉幸)